

					(4)子育て支援センターの実施に関すること ①一時保育 年間延べ 558名【令和3年度 338名】 ②開館日数 年間246日 一般来館者総数3958名(幼児2155名 大人1803名) * 令和4年度より土曜日は閉館となった。 【令和3年度 開館日数 年間279日 2490名(幼児1350名 大人1140名)】 ③事業回数 年間86回 参加者総数1923名(幼児986名 大人937名) 【令和3年度 年間54回 774名(幼児411名 大人363名)】 ④園庭解放 年間6日 来所40名(幼児20名 大人20名) * コロナ禍の為、できる限り園児との接触を避けるため、園庭開放としては、限定的行った。(裏庭は毎日解放し、遊べる環境を整えた。) 【令和3年度 年間12日 69名(幼児40名 大人29名)】 (5)子育て支援センター内容に関すること ①季節行事(七夕会、夏祭り、ハロウィンパーティー、ミニ運動会、クリスマス会、節分会、桃の節句) ②運動あそび(サーキットあそび) ③地域・多世代間交流(コロナ禍により交流事業は中止。代わりに園児学会を4回行った。保護者19名参加。) ④親の健康増進のための講座(バランスボール、ママビクス、セラピストマッサージ) ⑤親のリフレッシュのための講座(正月飾り作り) ⑥子ども講座(リトミック、手作りおもちゃ) ⑦家族参加の事業(ファミリー会さんぽ、ファミリー会親子遊びとして実施。)			
		(3)自主事業の企画・運営・実施	—	—				
2	施設管理状況 (30点)	(1)施設管理業務の実施状況 (15点)	①清掃	15	・保育室、調理室及びトイレ等の施設清掃(毎日) ・ガラスの清掃年2回、エアコンの清掃 年3回実施(うち業者による清掃1回) ・給食室換気扇の清掃 年4回実施(うち業者による清掃1回) ・給食室グリストラップの清掃 月1回実施(業者による清掃年1回) ・樹木の剪定 2回、園舎周りの除草 5回、園庭の清掃管理(月1回) ・施設周辺の清掃(毎日)	適正(普通) 3点	・適切に実施されている	15点
			②保守・点検		・備品の点検(年1回実施) ・点検→職員による安全点検(月1回) 専門業者による点検(年1回) ・砂場の砂の補充(年1回9月) 抗菌剤による整備(年1回3月) ・非常通報装置点検(6回) 消防用設備点検(2回) 電気工作物点検(月1回)・総合点検(1回)は委託により実施	適正(普通) 3点	・適切に実施されている	
			③保安・警備		・夜間・休日館内警備については委託により実施 ・日中は玄関を2重に施錠すると共に、設置された防犯カメラの稼働状況を確認して日々の防犯に努めた。 ・子育て支援センター来館者の入り口を保育園とは別とし、送迎時間以外は園庭へつながる門の施錠を行った。	適正(普通) 3点	・適切に実施されている	
			④小規模修繕		・給水設備修繕 ・床のささくれ、応急処置(鏝で削り、保護テープを貼った。) ・網戸張替え(6か所) ・換気扇修繕 ・トイレタンク修繕 ・自動食器洗浄機修繕 ・ガス回転窯修繕	適正(普通) 3点	・適切に実施されている	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		・遊具の使用については使用前に安全確認実施 ・毎月園舎内外の安全点検と日常業務の中で危険箇所を把握し、修繕等必要な場合は速やかに対応している。その他必要に応じて市へ連絡し、対応について協議している。 ・散歩コースの下見を必ず行うとともに、危険箇所を記入することで職員間の情報共有を必ず行っている。 ・イノシシ出没情報により、山側への散歩を中止した。	適正(普通) 3点	・適切に実施されている	
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	・文書目録に基づいて適切に管理している。 ・文書はファイルとデータで管理している。 ・個人情報については鍵付きキャビネットで保管している。	適正(普通) 2点	・適切に実施されている	10点
			②環境への配慮		・多治見市の環境方針に準じ対応している。紙はリサイクル紙とし、公文書以外は裏紙を有効活用している。 ・市役所や他の関係機関等の連絡は、可能なものについては極力メールで対応し、紙使用の削減に努めている。 ・冷房、暖房は適切な温度に設定し、環境に配慮すると共に、こまめにスイッチを切るなど節電に努めている。 ・飲食を伴う行事は、使い捨てではない箸や食器の持参で廃棄物の抑制に努めている(デイキャンプにて実践) ・廃材を利用したおもちゃ作りを提供している(おやつヨーグルトカップ等も含めて) ・保護者の送迎時の駐車時には、アイドリングストップをルール化し、エンジンの停止を徹底している。 ・食器の洗浄には、環境にやさしい洗剤を使用している。	適正(普通) 2点	・適切に実施されている	
			③バリアフリー		・施設内は、段差のないバリアフリー構造であり、玄関から車椅子で入ることができる。園庭に出る際も、濡れ縁の両端はスロープになっており、車椅子でも出入りが可能 ・車椅子用(多目的)のトイレが設置されている。 ・障がいがある子、支援が必要な子もみなひとつのクラスでの生活を保障(インクルーシブ教育)し、心のバリアフリーを目指す保育をしている。	適正(普通) 2点	・適切に実施されている	
			④備品管理		・備品の点検を年1回実施。備品台帳に基づき管理している。 ・買い替えが必要な備品(10万円以上)については要望書を作成し、担当課に提出している。	適正(普通) 2点	・適切に実施されている	
			⑤個人情報保護		・個人情報は、施錠できるキャビネットに収納し管理している。 ・法人において「個人情報保護管理規程」を作成し、年1回職員研修を実施している。 ・個人情報が記載されている書類は不透明なファイルを使用し、関係者以外の目に触れないよう配慮している。 ・園児の写真の掲載については、保護者の同意を得て行っている。	適正(普通) 2点	・適切に実施されている	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし: 0点、事故等対応に不備あり: △1点)	・保育中に起きた事故や怪我においては速やかに子ども支援課に報告している。 ・令和4年度事故状況 通院を伴う怪我0件 ・令和4年度県報告対象の事故0件 ・園児、職員、その家族等のコロナ感染、濃厚接触者指定及びPCR受検情報等を適切に報告(新型コロナ陽性者 園児35名 園児家族28名 職員12人)	事故なし・対応に不備なし 0点	・事故等の対応に不備なし	0点

3	当該施設の経営状況 (0点)		①事業収支	—	—				
4	より良い施設運営 のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上：10～8点、適正（普通）：7～5点、不備あり：4～1点	・保育園、保護者会による意見ポストを常設している。 ・園からのアンケート実施。(運動参観日後・年度末)その後速やかに保護者に頂いた意見についての回答等を保護者に文書で配布した。 ・保護者懇談会を実施し直接話を伺う機会を設けている。(5月・2月) ・日々の連絡帳によるニーズの把握に努め、速やかに対応した。 ・子育て支援センターでは、行事開催後アンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。 ・保護者会役員と話し合う機会を設けた。(年度初め・年度末)	期待以上 8点	・保育園行事等についてのアンケート等を実施し、保護者ニーズの把握に努め、事業の改善等に繋げている ・保護者からの意見に対して迅速にフィードバックを行うことで共通理解を深めている	8点
			②苦情対応	5	期待以上：5点、適正（普通）：4点、不備あり：3～1点 ※苦情なしは5点とする	・苦情はなかった。 (苦情解決責任者(園長)、苦情受付担当者(主任保育士)、第三者委員を公示して保護者へ周知している。)	苦情無し・期待以上 5点	・適切に実施されている	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント（15点）	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント（アピール）が期待以上：15～12点、適正（普通）：11～9点、普通未満～物足りない：8～0点	・今年度は特に異年齢交流(3歳～5歳児)を週2回朝の活動に取り入れ、思いやりやあこがれの心の育ちに繋がった。 福祉施設利用者との交流事業はコロナ禍の為、今年度も直接的な交流はできなかったが、WEBを利用して交流を実施(障害者センター利用の身体障害者・デイサービス利用の高齢者)した結果、施設利用の方々にも好評であり、今後も他の施設と交流の場を設けていきたい。 ・毎日の給食を掲示している。また、「給食だより」にて子ども達に好評な給食やおやつレシピを紹介。食育活動では寸劇を取り入れるなどの工夫で、家庭でも食について親子の会話が広がる様クラス懇談会でも話をした。 ・年長児対象のデイキャンプにおいて、食育の一環としてカレー作りを体験したことにより、家庭でも調理のお手伝いを進んで取り組む姿や、家庭でもカレーを作ったとの報告を受けた。 ・年中、年長児が育てた「かぼちゃ」を全園児に配ることが出来、食育とともに家庭での話題作りに繋げることが出来た。 ・園周辺の公道の清掃や辛沢川の法面の除草を行い、環境整備に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、手洗いの徹底、園内の消毒等適正に実施、給食・おやつ時にはアクリル板を使用して感染対策に努めた。 ・年長児のお別れ遠足では、4年ぶりに公共交通機関(電車)を利用して実施し、切符の購入方法や公共でのマナーなど学べる機会となった。	期待以上 14点	・異年齢交流や食育に積極的に取り組み、園外活動も再開している。 ・日頃からコロナ感染症防止対策として、園内の消毒、子ども達の手洗い、保護者への対応等適正に実施している。 ・剪定・除草作業、園庭の水はけ対策など環境整備という面では、かなり努力している	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微)：△1、一部遅れ・不備あり(中程度)：△2、一部遅れ・不備あり(それ以下)：△3	・報告書類等の提出は、期限を遵守し確実に提出した。	遅れ・不備なし 減点なし	・適切に実施されている	0点	
		(2)市からの指示等への対応（報告書類の提出以外）等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする（対応等の内容により△1～△3点） 指示等なし・対応等が期待どおり：減点なし、対応等が期待以下(軽微)：△1、対応等が期待以下(中程度)：△2、対応等が期待以下(それ以下)：△3	・多治見市の保育方針に基づき保育体制を整え、保育を実践した。(いきいき遊び、いきいき運動遊び、インクルーシブ教育等) ・市役所子ども支援課による訪問や教育委員会による訪問時において、活動の設定を工夫して取り組んだ。助言やアドバイスについてはその後の職員会で共有し実践した。(園訪問、巡回相談、教育長訪問等) ・園児、職員、その家族についての新型コロナウイルス感染情報(PCRや抗原検査の受検を含む)の報告について適正に対応した。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・適切に実施されている	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計89点
									全体的な評価 ・地域交流や学校との連携を重視し、市の重点施策(「いきいき遊び」や「いきいき運動遊び」)などにも積極的に取り組んでいる ・コロナ感染防止対策を引き続き徹底しながら、積極的に行事の再開を実施している ・園の設備の老朽や立地による駐車場や周辺環境について保護者からの要望に対応して整備に努めている